

会員生協の活動

金沢大学 オープンキャンパスでの 生協の取組み

●2013年8月8日(木)・9日(金)
●金沢大学

金沢大学生協では、毎年金沢大学のオープンキャンパスの取組みに参加しており、金沢大学や大学生生活へのイメージアップに貢献できるようさまざまな企画を実施しています。今年も2日間に渡って開催され、当日は気温32度を超える厳しい暑さの中、多くの高校生や保護者が大学を訪れました。

生協では、学生スタッフを中心となつて、模擬店でかき氷や金大オリジナルグッズの販売を行いました。学生が大きな声で案内し、お祭りの雰囲気を感じたのではないかと思います。また、大学事務局内の企画「入試・学生生活個別相談コーナー」でも学生スタッフが高校生や保護者からの質問に直接答えました。他にも、一人暮らしのための住まいの相談コーナーや見学会の開催、食堂や購買での歓迎企画メニューやセールを開催し、大学生生活を身近に感じられるように取組みました。

(金大生協 井上美紗子)



2013年度 品質管理研究会

主催：生活協同組合連合会 コープ北陸事業連合 共催：NPO法人 北陸HACCPシステム研究会 後援：北国新聞社 テレビ金沢

コープ北陸事業連合 第17回品質管理研究会

●2013年7月11日(木)
●ANAクラウンプラザホテル金沢

9月に開催した昨年と一昨年は台風や大雨に見舞われ、当日の欠席者が多くなっていました。今年も開催時期を7月に早めたこともあり、325名と多くの参加がありました。

講演①として「最近の食品表示行政について」をテーマに、消費者庁食品表示企画課の吉田大作氏より食品表示の最新の情報を提供いただき、現状が理解できたと参加者からの声が多く寄せられました。

講演②として日本生協連 品質保証本部グループマネージャー 八反田誠氏より「現場目線で見える商品苦情、工場点検から共有化したいこと」、実践報告①として株式会社アルプ食品環境本部主任 山崎聡氏より「製造現場の問題点とその対策」、実践報告②として、株式会社高澤品質管理研究所安全規格管理室室長 早見彰人氏より「防虫防鼠対策の有効活用」をテーマに報告をいただき、商品の製造現場における品質管理について、参加者全員で学習を行い、参加者から大変参考になったとの声が多く寄せられました。

(コープ北陸事業連合 脇坂 喜文)



日本生活協同組合連合会
品質保証本部 品質保証部
QCCグループ
グループマネージャー
八反田 誠氏



消費者庁
食品表示企画課
食品表示三元化検討チーム
吉田 大作氏

会員生協の活動

学校生協 ならないろまつり開催

●2013年10月19日(土)
●ならないろプラザ

2006年まで金沢流通会館で行われていた「生協まつり」を、会場を「ならないろプラザ」(学校生協事務所)に移し、7回目の催しです。

生協商品の展示即売をはじめ、指定店の展示、ふれあい模擬店、組合員出店コーナーなどがあり、理事も模擬店を運営し、まつりを盛り上げました。

じゃんけん大会、ビンゴゲーム、指定店協賛セールなど、組合員感謝の集い、ふれあいの場として定着してきました。

模擬店では、理事が命名した「チームうどん」コーナーや理事がにぎる「おにぎり」が、早々に完売の賑わいとなりました。

ビンゴやじゃんけんでは、会場は歓声に包まれ、楽しい一日となりました。

その後、組合員に魅力ある生協まつりとなるよう、さらに工夫を凝らしていきます。

(石川学校生協 常務理事

嶋山 栄実)



大勢の組合員で賑わう ならないろまつり

消団連の活動

第44回 石川県消費者大会を開催!

●2013年12月3日(火)
●石川県地場産業振興センター

石川県消費者大会実行委員会では消費者の暮らしの安全と生活文化の向上をめざして、食の安全・環境・平和・福祉などのテーマで毎年石川県消費者大会を開催しています。

今年度は「食を考えよう」をテーマに京都産業大学教授 佐藤洋一郎氏の講演と実行委員会メンバーである食とみどり・水を守るいしかわネットワークの活動報告「支援米の取り組み」が船塚俊克氏より報告されました。

○石川県消費者大会に参加して

コープいしかわ理事 谷口 智美

船塚さんからは、自分たちの手で田を耕し、植え、育てたお米をアジアやアフリカに送るといふ、とても意味のある素晴らしい活動を報告していただきました。

佐藤先生からは「食を考えよう」というテーマで、日本の食、世界の食について講演いただきました。「今日食べるものがない」人が大多数の地球上で、「今日食べるものを選ぶことができる」日本人。穀物の生産量からみると食料は足りているはずなのに、家畜の餌やバイオ燃料などに使うことで不足している現実。ビニールハウスで育て、遠方へ運び、旬がわからなくなったスーパーの野菜売り場。

食べることにお金をかけない大学生。増えていくサプリメント依存。米の消費量が下がり、畜産・乳製品の消費が増え、進む食の洋風化。輸入食品の中に含まれる仮想水の問題。四本足の鶏や切り身の魚を描く子ども達。他にも、国外での農耕や食の様子を写真でたくさん紹介していただき、食に関する現実や食が抱える問題を提起していただきました。我々消費者がもっと賢くなって、食について五感を鍛え、季節を感じ、偽装に騙されないために自分たちが口にするものについて考え、石油に頼る農業を見直し、将来の農業について考える機会をいただいた講演でした。



講師の佐藤教授